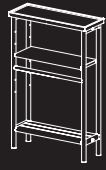


組立・お取り扱い説明書

バスラック

BR-01CM/BR-01CW



このたびは、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この製品を末永く安全にお使いいただくために、この『組立・取扱説明書』を良く読み、正しくお使いください。また、この『組立・取扱説明書』を保管し必要なときにお読みください。

仕様

■樹種について

メープル メープルシロップのとれる木です。清潔感のある白い色と、つやのある木肌が特徴。硬く割れにくく、じっくり使い込むと独特の艶色に変わります。

ウォルナット くるみのなる木の仲間です。灰色がかったブラウン色で、高級家具材として人気があります。木目が変化に富んだ模様を描き、磨くと美しいつやが出ます。衝撃に強く、楽器などにも使われます。

※天然の素材なので、同じ材料でもそれぞれの表情は異なってきます。

■塗装について ウレタン塗装

木の表面に膜を作るため、キズや汚れが付きにくい塗装。ふだんのお手入れは、から拭きでほこりを取るだけで充分。汚れのひどい時は薄めた石鹸水を浸した布で汚れを落とし、良く絞った布で洗剤分を拭き取り、次に柔らかい布できれいに拭き取ってください。

■サイズ W550×D210×H850 mm

■耐荷重 天板(トレー)・可動棚・棚板各 10kg/ 丸棒 5kg/ 全体 15kg

▲ 使用上のご注意

- ① ご使用前に必ずこの説明書を読んでください。
- ② 乱暴な取り扱いはしないでください。安全性が低下する恐れがあります。
- ③ 危険ですので、用途以外には使用しないでください。
- ④ トレーや可動棚、棚板、バーに荷重をかけたり、過度な重量物などを載せたり、掛けたりしないでください。破損や転倒により怪我をする恐れがあります。
- ⑤ バーに掛かっているタオルを手前に引っ張ったり、勢いよく取ったりしないでください。転倒する恐れがあります。
- ⑥ 完全防水ではありません。ぬれた場所での使用を避け、水滴が付着した場合はご使用後に拭き取ってください。

■木の家具が苦手なものは？

直射日光や熱は家具を変形・変色させるおそれがあります。窓やストーブから離してお使いください。湿気は家具を膨張させたり、カビを発生させる可能性があります。壁からはなして置いたり、通気性を良くしましょう。



■木部のお手入れ方法

毎日のお手入れは？

→乾いた柔らかい布で拭いてください。

調味料・お酒をこぼしてしまった…!?

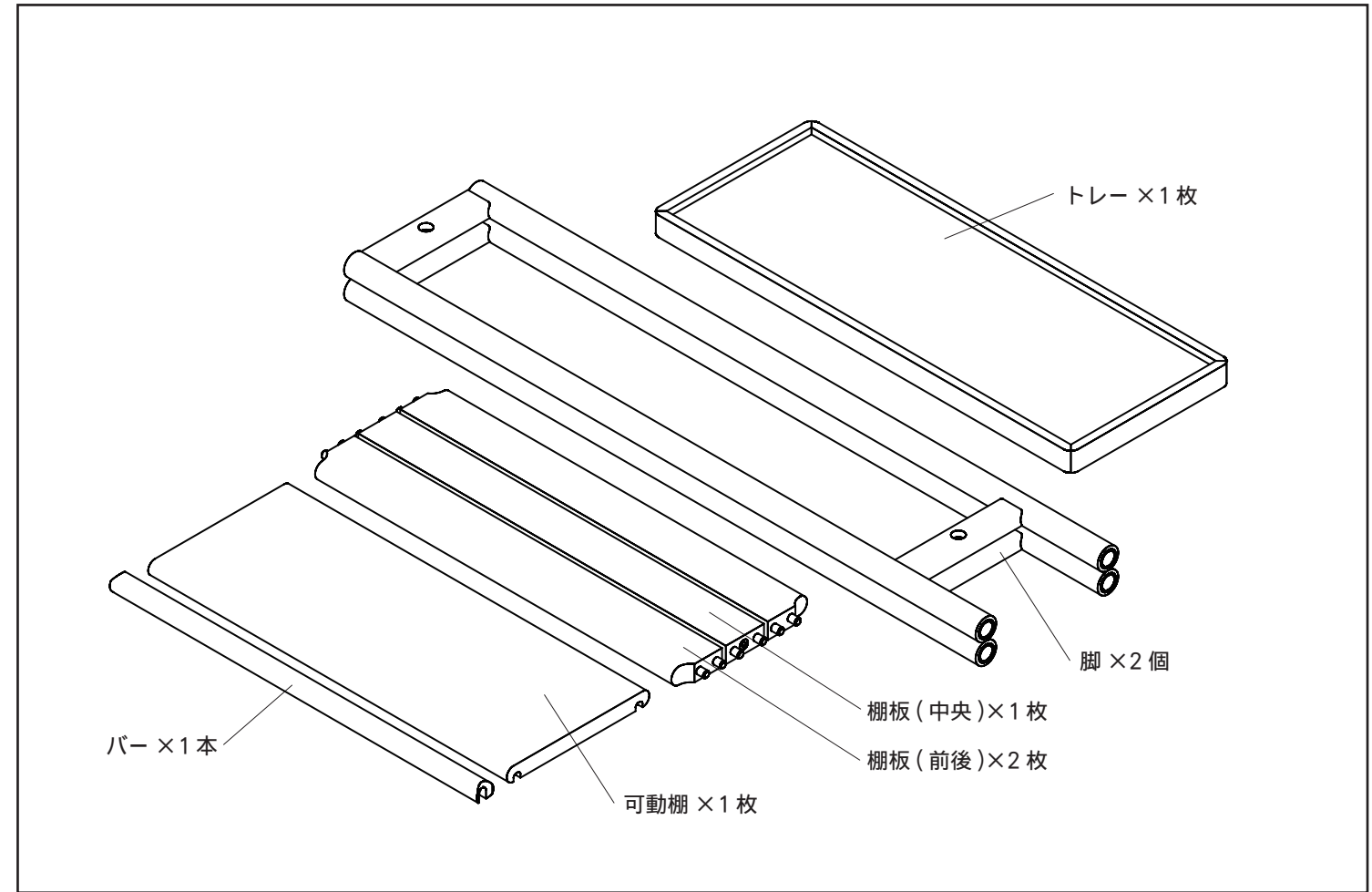
→良く絞ったフキンで、すぐに拭き取ってください。

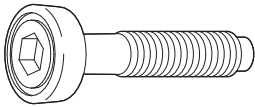


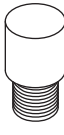
乾拭きではとれない汚れには？

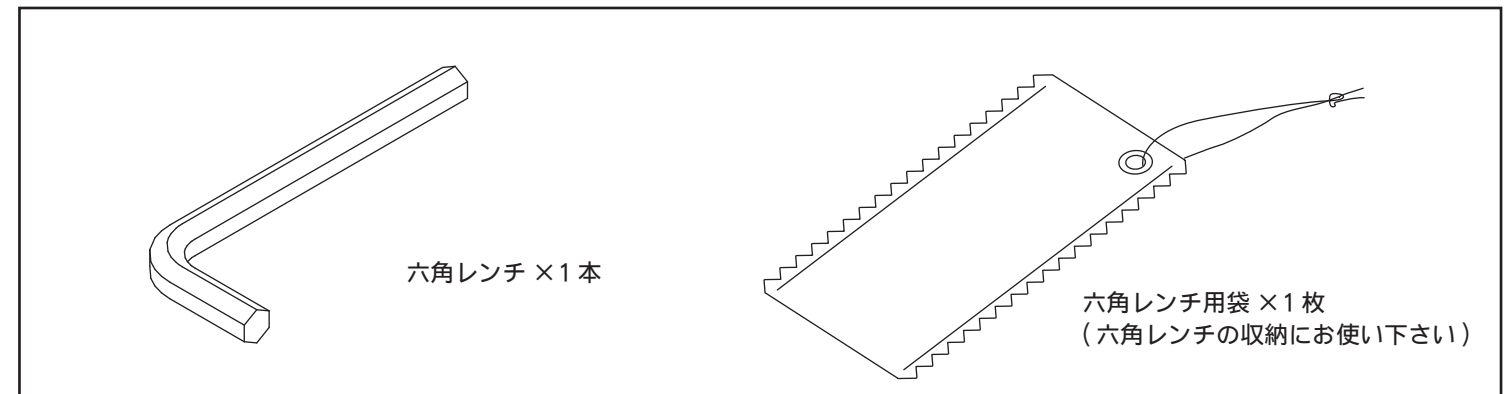
→石鹸水を浸した布で汚れを落とし、良く絞った布で洗剤分を拭き取り、次に乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。



■構成部品



 ボルト M6×30	 スプリングワッシャー	 平ワッシャー	 棚ダボ
4 本	4 枚	4 枚	6 個



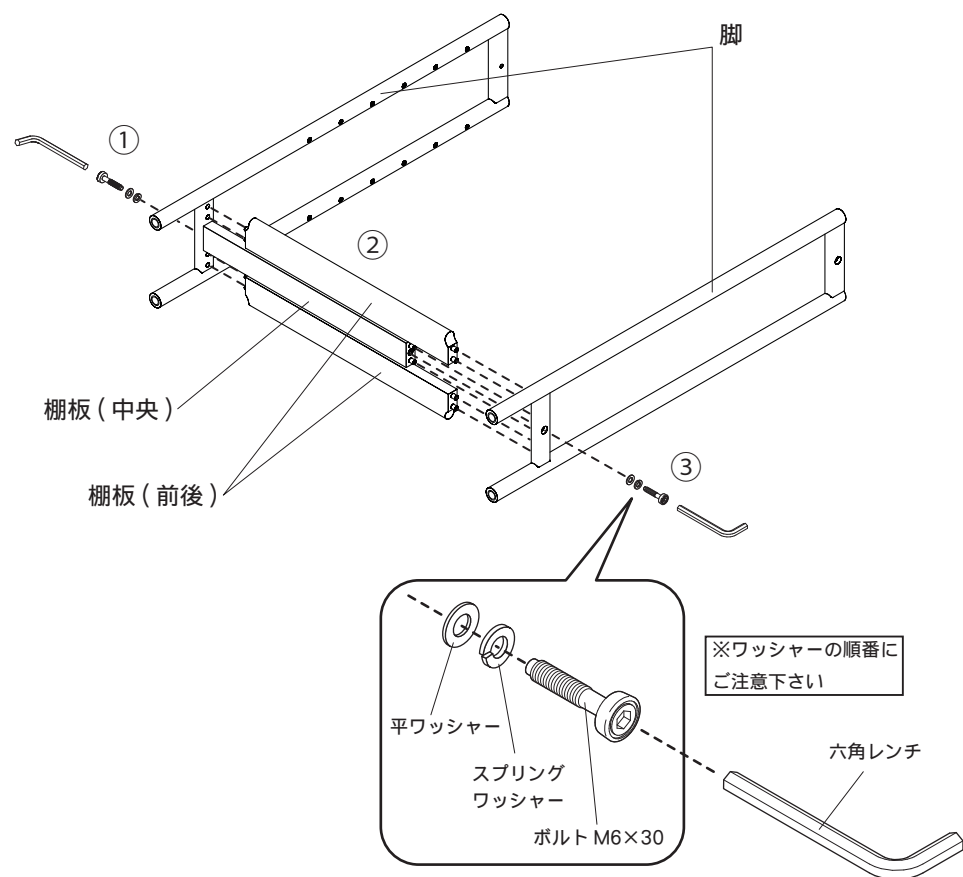
■お問い合わせ先 株式会社コサイン カスタマーサポート
〒079-8453 北海道旭川市永山北 3 条 6 丁目 2-26
TEL. 0166-47-0123 / FAX.0166-47-7450
<http://www.cosine.com>

cosine

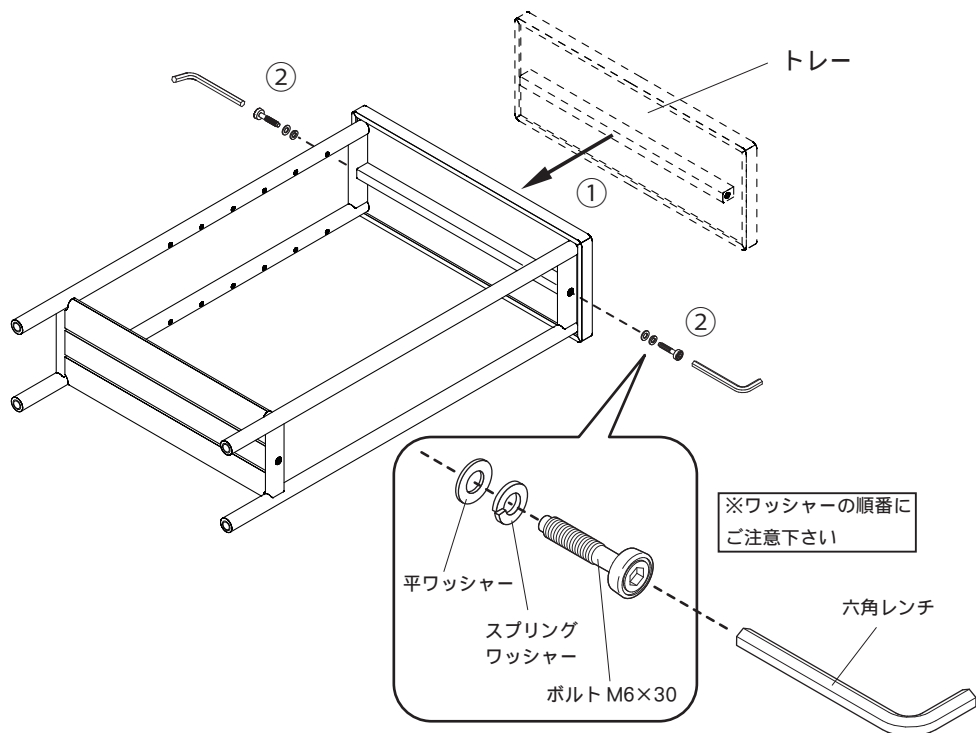
■組立説明

1 下図のように脚と棚板(中央)、棚板(前後)をそれぞれ組合せ、ボルトで固定します。

- ①はじめに片方の脚と棚板(中央)をボルトで固定します。
- ②次に棚板(前後)を2つの脚と組み合わせます。
- ③最後に反対側の脚もボルトで固定します。

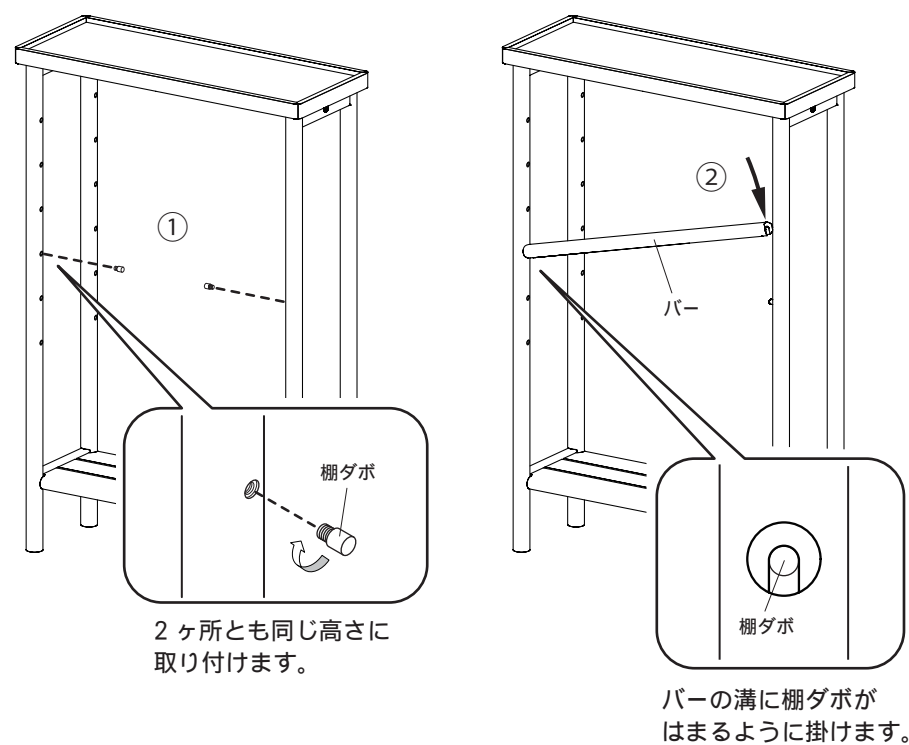


2 下図のようにトレイと脚を組合せ、ボルトで固定します。



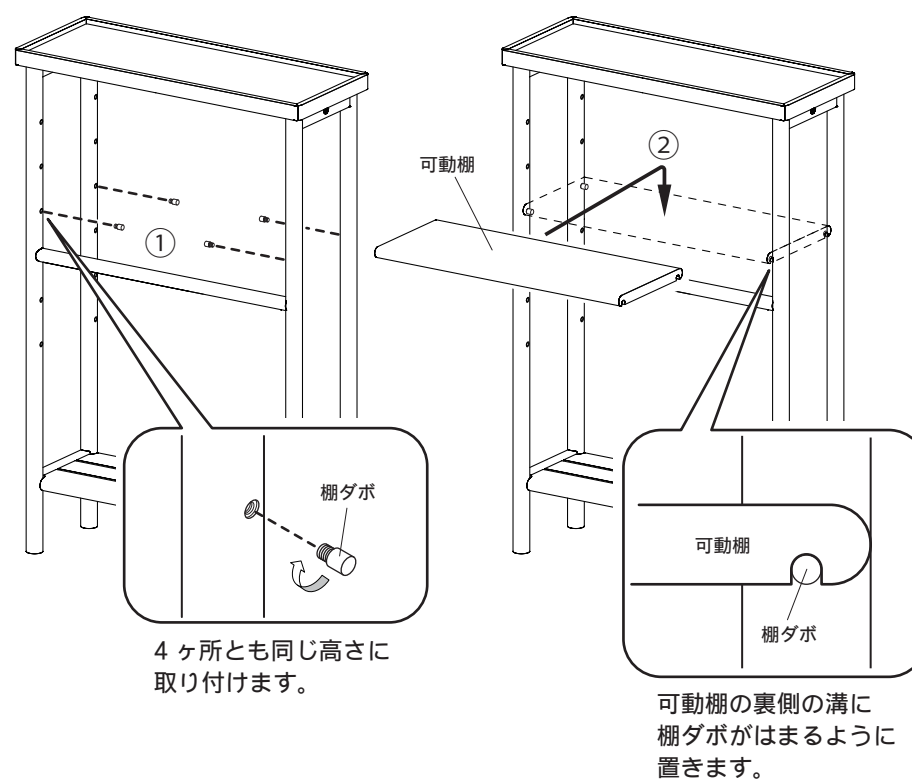
3 本体を立て、バーを取り付けます。

- バーは6段階の高さと本体の前後を選んで自由に取り付ける事が出来ます。
- ①バーを取り付ける位置に棚ダボを取り付けます。
 - ②図のようにバーを斜めにして、先に片方を棚ダボに引っかけてから、反対側を脚に沿って下げて棚ダボに掛けます。

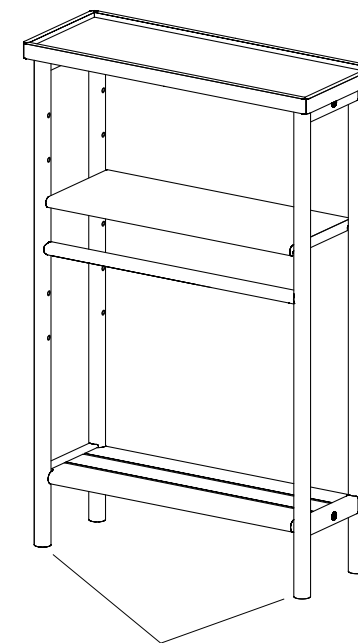


4 可動棚を取り付けます。

- 可動棚は6段階の高さを選んで自由に取り付ける事が出来ます。
- ①可動棚を取り付ける位置に棚ダボを取り付けます。
 - ②図のように可動棚を棚ダボに載せます。



5 完成です。設置場所にあわせて脚裏のアジャスターを調整してください。



設置場所に合わせて脚裏のアジャスターを調整して下さい。

組立後にバーを移動する際に、可動棚のすぐ下にバーがある場合、下図の手順でバーを取外すると、可動棚に干渉せず行う事が出来ます。

- ①バーの片側を少しだけ浮かせます。
 - ②棚ダボを取り外します。
 - ③バーの浮かせた側を脚に沿って下げて取外します。
- ※再度取り付ける際は、逆の手順で行ってください。

